

救急科（1週目）

曜日	時間	内容	担当	集合時間	集合場所
月	8:25	集合	管理医師	8:25	カンファレンス室
	8:30～	カンファレンス参加 オリエンテーション 施設案内・記録説明	管理医師 平田教授 管理医師		
	17:15～	患者情報収集、初療・病棟対応 担当患者申し送り	管理医師、研修医 管理医師、研修医		EICU・救急病棟 EICU・救急病棟
火	8:30～	カンファレンス参加	管理医師、研修医	8:30	カンファレンス室 救急医局 EICU・救急病棟
		患者情報収集、初療・病棟対応 講義	管理医師、研修医 管理医師		
	17:15～	担当患者申し送り	管理医師、研修医		
水	8:30～	カンファレンス参加	管理医師、研修医	8:30	カンファレンス室 EICU・救急病棟 EICU・救急病棟
		患者情報収集、初療・病棟対応 講義	管理医師、研修医 管理医師		
	17:15～	担当患者申し送り	管理医師、研修医		
木	8:30～	カンファレンス参加	管理医師、研修医	8:30	カンファレンス室 EICU・救急病棟 EICU・救急病棟
		患者情報収集、初療・病棟対応 講義	管理医師、研修医 管理医師		
	17:15～	救急車同乗実習 担当患者申し送り	管理医師、研修医		
金	8:30～	カンファレンス参加	管理医師、研修医	8:30	カンファレンス室 EICU・救急病棟 EICU・救急病棟
		患者情報収集、初療・病棟対応 講義	管理医師、研修医 管理医師		
	17:15～	救急車同乗実習 担当患者申し送り	管理医師、研修医		

救急科（2週目）

曜日	時間	内容	担当	集合時間	集合場所
月	8:30～	カンファレンス参加 患者情報収集、初療・病棟対応	管理医師、研修医 管理医師、研修医	8:30	カンファレンス室 EICU・救急病棟
	17:15～	講義 担当患者申し送り	管理医師 管理医師、研修医		EICU・救急病棟
火	8:30～	カンファレンス参加 患者情報収集、初療・病棟対応	管理医師、研修医 管理医師、研修医	8:30	カンファレンス室
	17:15～	講義 担当患者申し送り	管理医師 管理医師、研修医		EICU・救急病棟
水	8:30～	カンファレンス参加 患者情報収集、初療・病棟対応 講義（担当患者、課題）	管理医師、研修医 管理医師、研修医 平田教授	8:30	カンファレンス室 EICU・救急病棟
	17:15～	講義 担当患者申し送り	管理医師 管理医師、研修医		EICU・救急病棟
木	8:30～	カンファレンス参加 患者情報収集、初療・病棟対応	管理医師、研修医 管理医師、研修医	8:30	カンファレンス室 EICU・救急病棟
	17:15～	講義 救急車同乗実習 担当患者申し送り	管理医師 管理医師、研修医		EICU・救急病棟
金	8:30～	カンファレンス参加 患者情報収集、初療・病棟対応 救急車同乗実習	管理医師、研修医 管理医師、研修医	8:30	カンファレンス室 EICU・救急病棟
	17:15～	総括（総括） 担当患者申し送り	平田教授 管理医師、研修医		EICU・救急病棟

◎ 診療科名： 救急科

◎ 責任者氏名： 平田 淳一 主任教授

◎ 指導教員氏名： 山田 太平 准教授

◎ 実習概要

1.カンファレンス、2.教授講義、3.病棟実習、4.クルズス、5.救急初療実習、6.集中治療管理実習、7.救急車同乗実習、8.ドクターカー同乗実習、9.地域メディカルコントロール、10.その他各種検査・処置・治療の見学、11.カルテ記載などを行い、救急災害医療領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・救急領域における主要疾患について、初療対応のためのアセスメント方法、フィジカルアセスメントができる。
- ・救急集中治療領域における重要臓器別アセスメントのための基本的アプローチ方法の考え方と、主たる検査（血液性化学データ、画像検査）から病態把握を習得できる。
- ・多発外傷、重症外傷に対する初期対応ができる。
- ・BLS ができる。
- ・救急終末期患者の立場に立った家族対応を学ぶ。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- ・4 年次の講義資料をよく復習すること（2 日）
- ・BLS の復習すること（1 日）

◎ 評価方法

(知識、技能、態度について S、A、B、C で評価。評価基準をルーブリックで明示)

	S	A	B	C
知識	担当患者の病態について説明ができる。	担当患者についてアセスメントができる。	担当患者の疾患の概略を説明できる。	担当患者について把握していない。
	レジデントレベルの内容は十分理解している。	国家試験レベルの内容は十分理解している。	医学生レベルの内容は十分に理解している。	医学生レベルの理解が不十分である。
技術	病態にそったフィジカルアセスメントができる。	病態にはそわないがフィジカルアセスメントができる。	基本的なフィジカルアセスメントができる。	フィジカルアセスメントができない。
	後輩に診察方法や検査を指導できる。	必要な検査を実施し、結果を説明できる。	問われた内容を説明できる。	問われた内容を説明できない。
態度	さらなる興味を持ちノルマ以上をこなす。	積極的で質問もよくする。	ノルマはこなしているが、やや消極的。	消極的で質問がない。
	患者さん、コメディカルと良好なコミュニケーションが取れる。	患者さん、コメディカルに社会的対応ができる。	患者さん、コメディカルに挨拶程度はできる。	患者さん。コメディカルとコミュニケーションが取れない。
	欠席なし。	体調不良に依るやむを得ない欠席時に診断書の提出がある。	体調不良に依るやむを得ない欠席時に診断書の提出がない。	無断欠席、欠席時に嘘の理由を言う。

◎ パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。
第2週の金曜日に総括を行う。

◎ 中間評価とフィードバック

講義時に、初療症例や担当患者のフィードバックを行う。

◎ 注意事項

- ・初日は8時25分に急性医療総合センター2階 カンファレンス室に集合すること。
- ・毎朝8時30分からのカンファレンスに必ず出席すること。
- ・実習の記録はカルテに記載を行う。
- ・救急車の同乗実習に関しては、別途説明を行います。
- ・実習終了時刻はその日の患者さんの状況により変わります。

実習概要

「眼科/形成外科」「救急科」で4週間ある。各グループ（12名～13名）は以下のように班分けをして3診療科の実習を行う。各診療科への班分けについては「通し番号」で行う。

通し番号1・2・3の学生は、第1週目に眼科、第2週目に形成外科、第3・4週目に救急科。

通し番号4・5・6の学生は、第1週目に形成外科、第2週目に眼科、第3・4週目に救急科。

通し番号7・8・9の学生は、第1・2週目に救急科、第3週目に眼科、第4週目に形成外科。

通し番号10・11・12の学生は、第1・2週目に救急科、第3週目に形成外科、第4週目に眼科。

特別カリキュラム受講学生のうち臨床実習に回らないものがあるグループにおいても各個人の「通し番号」を元に上記内容で班分けとする。